



Thafaas Sponsorol Men's Association

# Thafaas ソンソロール男性協会

会長  
カイボ・レウンゲル

## 主な活動内容

- ヤシの木につく害虫、サイカブトの調査・管理
- 伝統的なカヌー作りを通じた技術や文化の伝承
- 伝統文化の教育
- パラオの遠隔地に家庭用太陽電池式照明を設置



## 設立背景

2000年、徐々に廃れる伝統的な習慣や文化に危機感を抱いたソンソロール州出身の年配男性により発足。2016年、正式にNGOとなる。「Thafaas」とは、ソンソロール語で「独自の文明を存続させるため、ひとりひとりが伝統的な知識と慣習を身につける」ことを意味する。現在、コロール州とパラオ南部に位置するソンソロール州で活動。

## 活動目的

ソンソロール州の男性社会に伝わる伝統的な知識と習慣の維持・継承。また、地域の自然環境を守り、治安の維持。

## メンバーからの声 カイボ・レウンゲル会長



私達の目標は、より多くの会員を構成し、運営能力を強化することです。伝統的な文化を維持・継承するためには、文化にまつわる様々な企画を実践しなくてはなりません。現在、運営資金を州政府に頼っている一面があり、政権交代たびに、一から私達の活動を政府に説き、支援について説明する必要があります。私達は独立した運営を目指しています。

2018年、サイカブトを観察・管理する一年間のプロジェクトを、国連開発計画パラオ事務所からの助成金により実行しました。サイカブトとは、椰子の木内部を食い荒らす害虫で、私達の生活に甚大な影響をもたらします。この害虫によるソンソロール島の被害は大きく、一年をかけ、家屋周辺に生える椰子の木を調査し、害虫を仕掛け、木を切り倒すことで駆除しました。このプロジェクトの成功は、私達だけでなく他のNGOの希望となり、NGO間で経験や情報を共有できる良き機会となりました。

2021年7月にはアメリカ合衆国国立公園局の基金により伝統的なカヌー制作のプロジェクトを行いました。これは船を作るための伝統工法を先輩船大工から学び、その工程を詳細に記録し後世に残すことが目的です。しかし、同時に、このプロジェクトは私にとって、Thafaasとして活動することの真意を知る機会になったのです。先輩船大工は伝統工法のみならず、プロジェクトを遂行させるための強い精神力を私に教えて下さいました。先人たちの知恵は、技術だけでなく哲学にも存在するのです。

私達のような地域に密着した伝統的な男性組織は他の州にも存在しています。彼らと団結し、必要な際に迅速な対応ができる制度の設置を目指しています。それぞれの組織を認識しお互いに知識を共有することが、パラオ各地に残る伝統的・文化的価値の保存に繋がるのです。私達が、パラオのNGO同士を結ぶBANGOに加入しているのは、まさに横のつながりを強化するためです。実際にBANGOを通じ、パラオの遠隔地の全家庭へ太陽電池式照明の設置を計画することができました。

2015年、私は漁師水産開発プロジェクトに参加し、沖縄を訪問しました。その際、日本の組織と政府が共に協力し緊密に連携することで、先進的な組織の運営を円滑に行っている姿を目の当たりにしました。これはとても印象的で、私のパラオでの活動意欲になっています。パラオでも日本のように組織と政府が連携を強められるのであれば、より多くのパラオ人が積極的に自らの役割を果たすでしょう。そのために私たちは今、立ち上がり行動しなくてはなりません。

## Contact Information

(680)-775-1928